

日本中央競馬会 平成30年度畜産振興事業
未来の畜産女子育成プロジェクト事業



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

参加者・引率者 応募要領

1. 事業の目的

日本中央競馬会の平成30年度畜産振興事業による助成事業として、将来の女性農業者リーダーとなりうる女子農業高校生に、酪農が盛んで女性就農者の活躍が目覚ましいニュージーランド（NZ）の畜産を学んでいただくプロジェクトです。

現地では、学校での学習、ファームステイ、視察・見学の他、酪農への就業を目指す女子高校生や実際に畜産に従事する女性と交流し、コミュニケーション力や英語力を高め、洗練された酪農業の現状や後継者育成の仕組みや取り組みなどを学びます。

これにより、将来の日本の畜産を発展させようという強い意志を持つ人材になっていただき、研修参加後には「輝く畜産アンバサダー」として、自身が本プロジェクトで得た知識や経験をプロジェクトに参加していない人たちと共有して畜産の魅力を広くPRしていただくことを目的としています。

2. 実施団体

このプロジェクトは、公益社団法人 国際農業者交流協会（以下「協会」という）が事業実施主体となって行います。現地研修は、ニュージーランドのサウスランド・ガールズ高校（SGH）と協力して行います。

3. 研修内容

研修は、大きく分けて①事前研修と②現地研修の2つがあります。

①事前研修は、現地研修のためのオリエンテーションで、駐日ニュージーランド大使館での現地事情の説明や、日本農業とNZ農業について考えるワークショップ等を予定しています。

②現地研修は、ニュージーランドのサウスランド・ガールズ高校での畜産に関する学習・実習や、ファームステイ等を予定しています。また、現地研修には、日本で酪農経営や酪農研究に携わるメンター2名（参加者をサポートし、指導する人）が同行し、NZで見聞きできる畜産の現状と日本の畜産の現状を橋渡しするとともに、畜産の将来性や魅力を伝える役割を担います。その他、協会職員2人が案内役として同行し、参加者の皆さんをサポートします。

4. 研修期間

- | | | |
|---------------------|----|----------------------|
| (1) 事前研修（オリエンテーション） | 東京 | 平成30年6月14日（木）～16日（土） |
| (2) NZ現地研修 | NZ | 平成30年8月18日（土）～28日（火） |
| (3) 研修成果報告会（帰国時に開催） | 東京 | 平成30年8月28日（火）～29日（水） |

5. 研修参加者、引率者の募集

(1) 参加者（生徒）

① 募集人数 20人

② 応募資格

- A) 日本国籍を持っていて、心身ともに健全な方。
- B) 農業に関する学科（農業科、畜産科等）・系列等を設置する高等学校で畜産（畜産加工も含む）を学ぶ女子生徒。
- C) 明確な研修目的を持っている方。
- D) 英語の初歩的・基本的素養があり、英語を積極的に学ぼうという意識が強い方。
- E) 自分の考えや意見を積極的に相手に伝えることができる方。
- F) 事前研修、現地研修、研修成果報告会のすべてに参加できる方。
- G) 保護者の同意及び学校長の推薦が得られる方。

③ 役 割

- 研修参加後に研修成果報告会にて学んだことを発表します。
- 研修報告書を作成し協会に提出します。
- 研修で得た知識・経験を基に研修成果と畜産の魅力を広めるため、「輝く畜産アンバサダー」として学内外の発表会等に参加し、学んだことを広く伝えていただきます。
※畜産アンバサダー：本事業で得た知識や経験を学校内外へ広める人

(2) 引率者(教員)

① 募 集 人 数 2人

② 応 募 要 件

農業に関する学科・系列等を設置する高等学校において農業教育の指導的立場にある方(校長、副校長、教頭、教諭等)で、事前研修、現地研修及び研修成果報告会のすべてに参加でき、以下の役割を担うことができる教員。男女は問いません。プロジェクトの内容から、畜産を専門とする方に適しています。

③ 役 割

- 事前研修や現地研修に引率者として同行し、協会職員と協力して参加者の指導を行っていただきます。
- 研修で得た情報を取りまとめ、研修報告書を作成して提出いただきます。
- 参加者の畜産アンバサダーとしての活動に協力いただき、プロジェクトの目的である女性就農(特に畜産業)を促す広報活動に協力していただきます。

6. 応募方法

(1) 申 込 方 法

- ① 所属する高等学校を通じて必要書類を協会に提出して下さい。1高校からの応募者は3人までとします。
- ② 参加者(生徒)は応募書類を所属高校で取りまとめて、引率者(教員)は各自で、締切日までに協会に電子送信して下さい。なお、書類は、pdfファイルとしてEメールに添付し、以下のEメールアドレスに送信して下さい。
 - 送信先Eメールアドレス：kaito@jaec.org
 - メールタイトル：未来の畜産女子育成プロジェクト申込(〇〇県・〇〇高校)
- ③ 協会にてEメールを受信、内容を確認しましたら、申込完了のEメールを送付します。メール送信後2日以内(土日を除く)に受付確認メールがない場合には、下記「12. 問い合わせ先」まで電話にてお問い合わせください。
- ④ 作成いただいた書類の原本は、研修に参加が決まった方のみ、6月8日(金)までに協会へ郵送していただくこととなります。

(2) 募 集 期 間

平成30年4月27日(金)～5月25日(金)

【応募の締め切りは平成30年5月25日(金)です】

(3) 応 募 に 必 要 な も の

① 参加者

- A) 参加者申込書(様式1)
- B) 課題作文(題：自分の将来と畜産業との関わりについて)(様式2)
- C) 保護者同意書(様式3)
- D) 所属高校長の推薦書(様式4)

② 引率者

- A) 引率者申込書(様式5)
- B) 履歴書(様式自由)

(4) 参加者・引率者の決定

① 書類審査

提出の書類をもとに審査を行います。

② 口頭による確認

- 必要に応じて、Skype や電話等通信システムを用いて、個別に確認を行います。
- 口頭による確認は、5月26日（土）から5月31日（木）の間で実施します。
- 口頭による確認をする場合、本会より対象者の所属学校へ連絡し、日時を決めます。

(5) 結果の通知

- ① 参加の可否に関わらず、結果は6月1日（金）にEメールにて所属学校へ通知します。
- ② 参加者（生徒）については様式4の推薦書に記載のある「担当者」宛てに、引率者については本人宛てに、Eメールにて通知します。

7. 参加費用（参加者が負担する費用）

(1) 参加者（生徒）

- ① 事前研修に参加するための自宅～会場までの往復交通費と個人的経費
- ② 現地研修出発時の自宅～集合地、研修終了時の解散地～自宅の往復交通費と個人的経費
- ③ 上記以外の費用（国際航空運賃、NZ現地移動旅費、宿泊費）は本事業において負担いたします。詳細は参加者決定後に別途説明します。

(2) 引率者（教員）

本プロジェクトに要する費用（国際航空運賃、NZ現地移動旅費、宿泊費、国内旅費）は本事業において負担いたします。詳細は引率者決定後に別途説明します。

8. 研修参加決定後の辞退

- ① 研修参加決定後に、都合により辞退する場合、参加者や保護者または引率者から直接連絡するのではなく、所属の学校が辞退の理由を明確にし、電話又はEメールにてその旨を速やかに協会に通知して下さい。
- ② 辞退の時期により、当事者に関わるキャンセル費用が発生した場合、その実費は自己負担となります。

9. 研修の日程、宿泊先、内容等

(1) 事前研修

- 期間：平成30年6月14日（木）～6月16日（土）
- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

日次	月日	曜	時間	内容	宿泊
1	6月14日	木	午後	集合場所 オリンピック記念青少年総合センター 自己紹介、日程説明、書類作成 ワークショップ（現地研修について）	NYC
2	6月15日	金	午前	ワークショップ（日本農業とNZ農業） ワークショップ（女性農業者の活躍）	NYC
			午後	NZ大使館（大使）を訪問 ワークショップ（畜産アンバサダー活動）	
3	6月16日	土	午前 正午	渡航手続き、待機期間中の準備事項 解散	

※NYC…国立オリンピック記念青少年総合センター

※内容は、指導の方針やスケジュールの関係で変更する場合があります。

※参加者（生徒）の居住地と事前研修の集合場所（国立オリンピック記念青少年総合センター）間は、往路・帰路ともに、原則として、参加者（生徒）の保護者の責任の下での移動をお願いいたします。保護者の責任の下であれば、保護者の同行の有無は問いません。なお、保護者が同行される場合であっても、保護者は事前研修に参加することはできません。また、保護者の了解の下、学校教員に本移動を引率いただくことも可能です。この場合、当該学校教員が事前研修プログラムに参加することは可能です（事前研修プログラムの内容の一部については、参加者とは異なるものとさせていただく場合がございます）。いずれの場合においても、同行される保護者又は引率される学校教員の旅費は自己負担又は学校負担をお願いいたします。

（２）現地研修

期間：平成30年8月18日（土）～8月29日（水）

日次	月日	曜	発着都市名	発着時間	内容	宿泊
1	8月18日	土	東京	午後	空港集合 出発前オリエンテーション ニュージーランドへ向けて出発	機内
2	8月19日	日	インバーカーギル SGH	夕方	オークランドおよびクライストチャーチ 経由～インバーカーギル着 SGHへ移動	インバーカーギル
3 ～ 7	8月20日 ～ 8月24日	月 ～ 金	SGH	終日	学習プログラム	インバーカーギル
8	8月25日	土	農家	終日	農家滞在	インバーカーギル
9	8月26日	日	インバーカーギル クライストチャーチ	朝 午前 午後	インバーカーギル空港発 クライストチャーチ着 市場調査	クライストチャーチ
10	8月27日	月	クライストチャーチ オークランド	朝 午前 午後	クライストチャーチ空港発 オークランド着 女性農業者との会合	オークランド
11	8月28日	火	オークランド	朝 夕方	オークランド空港発 東京着	東京
12	8月29日	水	東京	午前 正午	研修成果報告会 解散	

場所：ニュージーランド国

※SGH…サウスランド・ガールズ高校

※内容は、指導の方針やスケジュールの関係で変更する場合があります。

※参加者（生徒）の居住地と現地研修の集合場所及び解散場所間は、往路・帰路ともに、原則として、参加者（生徒）の保護者の責任の下での移動をお願いいたします。保護者の責任の下であれば、保護者の同行の有無は問いません。

また、保護者の了解の下、学校教員に引率いただくことも可能です。

いずれの場合においても、

- ① 同行される保護者又は引率される学校教員は現地研修に参加することはできませんが、8月29日（水）に開催する研修成果報告会に御参加いただくことは可能です。
- ② 同行される保護者又は引率される学校教員の旅費は自己負担又は学校負担をお願いいたします。

10. 帰国時研修成果報告会及び研修報告書の提出

(1) 帰国時に東京都内の会場で、研修成果報告会を行います。

(2) 現地研修が終わった後、研修報告書を作成し、平成30年9月28日（金）までに、協会に提出していただきます。

1 1. 報告書の取りまとめと製本、配布

- (1) 協会は、研修の成果を関係機関や研究機関にて広く利用してもらうために、参加者の研修報告書を基に取りまとめます。
- (2) 報告書は、研修参加者、農業に関する学科・系列等を設置する高等学校、関係機関等に配布します。

1 2. 問い合わせ先

本プロジェクト応募に関する問い合わせ先は以下の通りです。

公益社団法人国際農業者交流協会
未来の畜産女子育成プロジェクト担当(皆戸^{かいた}/吉川)

住所(郵送物宛先)

〒144-0051

東京都大田区西蒲田5丁目27番14号

日研アラインビル8階

公益社団法人 国際農業者交流協会

- 電 話 03-5703-0252
- Eメール kaito@jaec.org
- Skype ID jaec-kaito